

# 伊奈町新庁舎建設特別委員会

令和7年3月12日（水曜日）

1. 招集年月日

令和7年3月12日(水)

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午後 3時44分

休憩 午後 4時14分

再開 午後 4時19分

休憩 午後 4時21分

再開 午後 4時33分

休憩 午後 4時44分

再開 午後 4時51分

休憩 午後 4時55分

再開 午後 5時08分

休憩 午後 5時16分

再開 午後 5時16分

休憩 午後 5時25分

再開 午後 5時26分

休憩 午後 5時36分

再開 午後 5時36分

休憩 午後 5時39分

再開 午後 5時40分

◎閉会 午後 5時41分

4. 出席委員名

委員長 上野尚徳

副委員長 青木久男

委員 富井篤弥、仲島雄大、木俣美千代、高橋まゆみ、栗原恵子、藤原義春、五味雅美

議長 佐藤弘一

議員 川内雅人、武藤倫雄、山野智彦、大野興一、戸張光枝、大沢淳

5. 欠席委員氏名

なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 森田範仁 局長補佐 沼田美由紀

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 秋葉 宏和

企画総務統括監 秋山雄一、都市建設統括監 中本雅博、教育次長 小林薫  
子、企画課長 澤田勝、DX推進・新庁舎整備室長 瀬口悦史、DX推進・新  
庁舎整備室主幹 佐藤研吾

開会 午後 3時44分

○上野尚徳委員長 お集りのようですので、早速始めたいと思います。

一般質問3日目ということで、大変お疲れさまでした。お疲れのところだとは思いますが、いつもどおり慎重審議のほどよろしく願いいたします。

ただいまから新庁舎建設特別委員会を開会いたします。

本日、町民の方から本委員会を傍聴したい旨、申出は今のところありません。伊奈町議会委員会条例第17条の規定に基づき、申出があった場合は許可したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 異議なしと認め、許可することに決定いたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、新庁舎整備に関する議会エリアの検討事項について協議をいたします。

先日、各会派で検討していただいたことを基に、それで議論したいと思います。

事務局で、皆さんからいただいたものを取りまとめました。この順番で決めていきたいと思えます。

まず、段階1の反映についてです。基本的には、皆さん、丸ということで先日提出していただいた案でよいということですが、これでよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 何かご意見とか付け加えることはありますか、大丈夫ですか。

〔発言する人なし〕

○上野尚徳委員長 それでは、最初の段階1の反映については、案のとおりということでお願いいたします。

続いて、議会事務局の部分についてです。

こちらに関して新しい検討案ということで意見が出ておりますけれども、富井委員からコメントが書いてあるので。

〔発言する人あり〕

○上野尚徳委員長 分かりました。じゃ、紙面上検討案ということなんですけれども、何かある委員はいらっしゃいますか。検討案ということよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 それでは、この議会事務局の扱いの部分に関しても、検討案で行くという

ことをお願いいたします。

次に、議場の家具について順次行きたいと思います。

まず、Aの議長と局長机の天板についてです。①が段差あり、②が段差なしということで、少し意見が割れているんです。今これですと①と②だけなんですけれども、何かこうしたほうがいいという、こういう思いでこっちを選んだという意見がある人いたら、発言をお願いしたいと思います。

富井委員。

○富井篤弥委員 ②を選びました理由なんですけれども、通路幅を多めに確保できるところがバリアフリーにも対応できるかなと思ひまして好印象でした。全体にもなるんですけれども、基本的に私どもとしましては、バリアフリー化への対応、災害非常時の際に空間を最大限有効活用できるようなものを優先的に今回選択した次第でございます。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

後ろの部分ということですよ。段が少なくなるので、バリアフリーで使えるスペースが広く取れるということでの②という意見でした。

ほかに、ご意見ありますか。

藤原委員。

○藤原義春委員 議場での議長の立場というか、そういうものを考えて、やっぱり議場全体を見渡せる感じで議長が座っているほうが望ましいかなと思って、①にしました。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

青木副委員長。

○青木久男副委員長 私は①になっているのかなと思います。

天板だけの話だと思うんですけれども、下の段差は関係ないということですよ。

○上野尚徳委員長 執行部に確認ですけれども、天板を段差にするということで、要は議長と隣の席を段差にすると、後ろの通路の部分も段差になるのか。それとも、そこはフラットな状態で席だけ段差にできるのか、そこら辺説明を。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史D X推進・新庁舎整備室長 まず、机を段差ありにした場合ですけれども、議長のところが一番高くなります。そうしますと、椅子自体の仕様は同じような形、ハイバックで少し高くするのが議長席と考えております。そうすると、議長のところだけ高くなってしまいうので、床も段をつけないと使いづらくなってしまいうということがありますので、机を段差

ありにした場合につきましては、次のページをご覧くださいますと、Bのところの選択でBの1の部分で段を移動式なのか、それとも固定で据えるという形で、お願いできればと思います。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 私はこのところの①を選んだのは、いわゆる議長のところが少し高くなっているから椅子も少し上にふっと上がるもので、下の床はいじらなくても対応が十分できるかなという思いで①を選んだんですけれどもね。今の次のページを見させてもらうと、①みたいな段が移動式で設置できるのであれば、私は特にこのさっきの赤じゅうたんのところの前のページの議長の椅子のところ、段を上げなくても問題ないかなと思うんですけれどもね。椅子で、要するに少し高めになるけれども、止まり木みたいな感じでね、できるんじゃないかと思って、私は①を選んだんですけれども、そうでなければ、私は②にします。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 議長の体格の問題もあるかと思うんですけれども、例えば天板、議長の机の位置に自分が好みの位置が多分あると思うんですけれども、その際に、例えば足が浮いたような状態になってしまう可能性もあります。そうしますと、やはり椅子の高さだけで調整するのは難しいケースも出てくるのかなとは考えます。机に段差つける場合については、床も段差をつけたほうがどなたでもお使いいただけるかなということでお示しさせていただいています。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 そういう意味でしたらば、今の話はちょっと私誤解していましたので、私は②ということで、すみません、訂正させていただきます。

○上野尚徳委員長 ほかにご意見ある方いらっしゃれば、特に①を。

五味委員。

○五味雅美委員 私も段差なしの②にしてあるんですが、考え方として基本的に議場をフラットにしたいと。例えば将来的に車椅子の方が議長になるとか、あるいはけがをして車椅子を議長が使うようになるかということも考えられると思うんですが、そういったことのために、基本的にこの部分についても段差を設けるような形じゃなくて、なるべくフラットな形にしていきたいと。これは、この後の選択でもそう考えているんですけれども、そういったことを基本にして段差なしということで選んでいます。

○上野尚徳委員長 分かりました。

栗原委員。

○栗原恵子委員 颯政会も②を選びました。その理由も五味委員と同じで、やはり障害を持った方がいらっしゃっても段差がないようにフラットということだったり、災害時のことも含めてフラットを選びました。

以上です。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

ほかにありますか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 清風クラブも②を選びました。理由は、同じです。

○上野尚徳委員長 今②の意見がいろいろ出たんですけれども、①の方で、やはりどうしても①という意見があるようでしたら、発言をしていただければ。

木俣委員。

○木俣美千代委員 公明党は①にしたんですけれども、特別ここにこだわってはおりません、はい。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

仲島委員はどうですか。

○仲島雄大委員 全体を見渡せるんじゃないかというような認識は持っていますけれども、木俣委員と同じようにこだわりはありません。皆さんにお任せします。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

そうすると、藤原委員。

○藤原義春委員 こだわるわけじゃなくて、多数に従いますので。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

なるべく全員で全会一致したいので、皆さん、ありがとうございます。

それでは、Aの部分、議長机の天板に関しましては、②のフラットのタイプでお願いいたします。

続いて、Bの議長、事務局長の床段差というところ、議長のところだけ1段だけ上げるのか、完全にフラットにするのか、そういう選択肢に今度なると思います。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 では、先ほどAで段差なしをお選び、②を選んでいただいたということになりますと、次の選択肢はBの中のBの2のところになります。ひな壇

ありかひな壇なしということなんですけれども、ひな壇ありの場合、移動可能ということになりますので、例えばバリアフリーの話をされていて、車椅子の方が議長になられたという前提の場合、例えばこれ移動式のひな壇なので、議長が車椅子の方で段差が難しいような方の場合については、その段差を取るという使い方もできるかと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 副委員長。

○青木久男副委員長 その真ん中の階段のところの脇にスロープ造ればいいわけでしょう、簡単なスロープで。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 移動式ということなんですけれども、基本的に置きっ放しということで、スロープで対応ということも当然できるかと思います。

○上野尚徳委員長 一旦資料を出していただいたんですけれども、質問の仕方を私のほうで変えさせていただきたいんですけれども。

フラットにしますよということまで決まりました。それで、今度はフラットなんですけれども、全体としてフラットというよりも1段だけ上げて、そのひな壇の部分を1段だけ上げて可動式にするのか、それとも最初からもう全部取っちゃってなしの状態、もう完全なフラットにするのか。それで、1回ご意見いただければと思います。

藤原委員。

○藤原義春委員 さっきAのところではBを選んだわけですね。そのスタンスからいくと、本来はこのBの2では①のひな壇なしがふさわしいと思います。

○上野尚徳委員長 完全にひな壇なしで、全部フラットの状態に席を置くということですね。

仲島委員。

○仲島雄大委員 移動可能であれば選択肢が増えるので、念のためにという言葉は語弊ありますけれども、やっておいて、そういうバリアフリーなときはそれを外すとか、非常時なんかは外すという選択肢の幅が広がるんじゃないかなと。逆に後から、これだけ欲しいから買ってくださいということはできないから、活用方法が広がるので、こっちの方。コストを抑えるという部分を考えればなしという選択肢も出てくるのかもしれませんが、やっぱりいろんなことを考えると、後から追加するよりもあったほうがいいんじゃないかとは、私は今この形になって思いました。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 Aで②の段差なしを選んだんですけれども、ここでイメージ的には、このテーブルを使うのは議長と事務局長なのかなと思うんですけれども、その2人分のところを高くするというのであれば、特に議長のところだけ1段高い段を造らなくてもいいかなと思うので、私はふだんからひな壇なしというよりも、移動可能なものであるならば、次の図みたいにステップのところにもスロープでもつけておけばもう万全だと思います。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

確認なんですけれども、先ほどのお答えでもあったと思うんですけれども、1段高くしても、取り外して全体をフラットにするということが出来る仕様ということで大丈夫でしょうか。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 おっしゃるとおりでございます。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 さっき②を選んでいいと言ったんですけれども、移動可能で、それをじゃ設置してあればいいということであれば、議長の結構見渡しがいいですね。そういう意味では、私は②です、移動可能ということで。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

そうすると、皆さんの顔を見ても、発言がなかった人も含めて、段はとりあえずつけるようにして、後で取り外しができるような形のものを選ぶというご意見だと思うんですけれども、それでよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、段は1段つけさせていただくということで回答させていただきたいと思います。

そういった内容でご理解いただけましたか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 2段にはならないけれども、仕様としてはBの1の①、これが1段ですよということになります。

そうすると、次、Cに移ってよろしいですか。

〔発言する人あり〕

○上野尚徳委員長 失礼しました。Bの2の②、そちらに修正させていただきます。

続いて、議員、執行部の机についてになります。

②が多いようです。仲島委員と藤原委員の回答が①となっていますが、ご意見あれば。

富井委員。

○富井篤弥委員 私、仕様②を選択したんですけれども、これは机について移動や収納が容易で、議会に限らず様々な用途で使用できるものがいいと思ったため、これを選びました。

○上野尚徳委員長 ほかに。

藤原委員。

○藤原義春委員 一応①にしたんですけれども、これ折り畳み不可なので、フラットなら②に決まってもいいかなと、どちらでもいいかなと思います。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

仲島委員はどうでしょうか。

○仲島雄大委員 こだわりはありません。

○上野尚徳委員長 分かりました。

それでは、折り畳み式というところで決定したいと思います。これに関しては、写真はこういうものなんですけれども、次の段階に進んだタイミングで、机等はどういった天板を使うとか、また改めて選べるという認識でよろしいでしょうか。

D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X 推進・新庁舎整備室長 次の段階3、恐らく6月議会のときの新庁舎建設特別委員会でご提案させていただけるかと思うんですけれども、その中で具体的にこういうものですと写真か何かでお示しできるかと思しますので、その中で選んでいただくことになるかと思えます。

○上野尚徳委員長 はい、分かりました。

それでは、仕様としては、Cに関しては②ということをお願いいたします。

次に、Dの発言台について決めていきたいと思えます。

この発言台についてなんですけれども、この審査に入る前に、皆さんに共有していきたいところなんですけれども、発言台を使う一般質問の部分になるんですけれども、その運用に関して、いろんな話が出ているんですけれども、認識として、もう発言台を使った一般質問のやり取りに決まっているというふうな認識でいる方と、当面両方とも、執行部側と議員側に発言台を設けておいて、やり方に関しては後日、また何年後かのタイミングで運用方法を決めていくといった認識の方と、私は後半の、今の段階では発言台は2つ用意しておいて、具体的なやり方、自席でやるとか発言台で最初からやる、後もやる、そういったものに関し

では先送りに、後のタイミングで決めていただく認識だったんですけども、その辺の認識についてご確認ができればと思います。

五味委員。

○五味雅美委員 私も認識なかったんですけども、一般質問のやり方とかそういったことについて、かつて議会運営委員会で論議されて、そのときに対面でやる方式が将来的にあり得るべきスタイルじゃないかという中で、とりあえずそれは新しい庁舎になる前は今の方式、今の状態の中での暫定的な選択肢として現状があるという話を聞いたんですけどね。

だから、質疑のやり方については、本来議会運営委員会でやるべきことではないかという話じゃないかと思うんですよね。今さらながらの話なんですけれど。

○上野尚徳委員長 私も、その話が出たときに、そのやり方を決めるのはこの新庁舎建設特別委員会ではないと思ひまして、最終的には議会運営委員会で決めていただくのがいいのかなとは思っているところです。

ただ、今回このDを決めるに当たって、そこが決まるとこないと決められないというようなご意見もいただいたので、今の段階では、そこに関しては発言台2つを使ってどうやるかとかというようなことに関しては、確実に決まっているわけではない、流動的にこれから考えましょうよという認識で皆さんよろしいですかね。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 じゃ、その認識で今回発言台について決めますけれども、やり方については議会運営委員会で今後決めていただくということで、ご同意いただきました。

その上で、執行部に確認なんですけれども、とはいっても発言台についても決められるところまで決めればなと今思っています。

今回、ここでD発言台について仮の段階で決めさせていただいて、例えば最終的に議会運営委員会で運営方法が決まった後に変更するということが可能なのでしょうか。もしくは、ここだけ先送りにして、いつまでに決めればよいよというふうな。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 運用方法を議会運営委員会で決めていただくということなんですけれども、それが例えばいつぐらいに決められるかによって多分先送り、例えば設計がぎりぎりまでという部分になってしまうのか、それとも例えば6月とか、そういった部分というのなかなか難しいかと思うんですけども、一旦例えば暫定で決めていただいた中で、次の多分段階3の6月議会の段階では、例えば①だったんですけども③にしたいとか、

もしくはもう一個いいのを見つけちゃったからこういうのを提案したいんだけどもどうでしょうかというようなお話をいただけて決めていただくということは可能、もう一回変えるということは可能かとは思いますが。ただ、これが12月とかになってしまいますと、設計はもうでき上っている期間になってしまうので、どうしても決めていただく部分については締切りがあると認識いただければと思います。

○上野尚徳委員長 それでは、それほど遅くないタイミングであれば、変更もやぶさかではないと思いますので、こちらとしては、議会運営委員会に一度お願いするんですけども、今日の時点では、流動的になる可能性もありますけれども一度決めさせていただいて、この後議会運営委員会にお願いして決めてもらった後に、今回決めたものだと困るよということであれば、6月議会議中をめぐりに改めて変更をするという流れで、Dを決めたいと思うんですけども、それでよろしいでしょうか。

委員のほう、まずよろしいですか、大丈夫ですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 執行部のほうも、それでよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 議会運営委員会でどういうやり方でやるかというのに関係なく、どういう形状がいいかぐらいは選んでおいても間違いじゃないと思うんですけども。議会運営委員会で今までどおりみたいに自席でやるという案もあるし、それから発言台に出てというのもあるかもしれないですけどもね。使わないという案もあったんですよ。現在2つのうち、特に議員側の前にあるのは使わないという選択肢もあったわけですから、議会運営委員会でどういうふうなやり方をするにしろ、使わないかもしれないけれども選んでおくということは、今でも我々の権限でできると思うんです。ですから、できたら今日決めたほうが良いと思うんですけどね。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

そういったことで、今日の段階で一度決めて、議会運営委員会で6月ぐらいにまとめてもらったものが今回決めたことで不都合があるというようでしたら、もう一度変更でまた議論してもらおうと。とりあえず今日の段階で当委員会として決定したいというところなんですけれども、そういった件についてよろしいですか。まずは決める。

○青木久男副委員長 議場の平面図でもイギリス式なんていうのも想定しているわけですね。

ども、運用は、議会運営委員会で決めれば、何も6月でこういう形でやるよと2年も前に決める必要もないし、そのときの議会運営委員会で決めればいいことかと思うんですよね。それで、構成もいろいろ変わりますけれども、何だかんだ言っても今までどおりがいいとか、あるいは質問台に立ってやるのがいいとか、あるいはイギリス方式がいいとかというのは、またこの議場の設計とは話が違うので、ここの管轄じゃない、先の話だと思うので、とりあえず、この3つのうち、どれがいいか、決めたほうがいいと思うんです。それを使って議会運営委員会でも、どうやろうと。もう今日選んでいいと思います。

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午後 4時14分

再開 午後 4時19分

○上野尚徳委員長 それでは、休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、発言台について①、②、③、この中で決めていきます。

それで、執行部側の今の議場である発言台の位置にあるものと、今度新しく予定されている、準備している議員側の発言台ということで、両方について選びたいと思います。両方同じであれば、両方同じで構いません。

スラッシュで書いてあるのは、でも結局これは両方とも同じ番号なので、執行部側も議員側も、木俣委員の公明党に関しては①と、清風クラブに関しては③ということです。

副委員長。

○青木久男副委員長 車椅子の場合でも、①は使えるわけでしょう、使えないの、高過ぎる。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 ①はノーマルタイプです。大体高さが1メートルぐらい恐らくあるんですね。そうすると、車椅子の方ですと、若干見づらいのと、執行部側から見たときに、お顔がこの辺ぐらいしか見えないことになってしまいますと、例えば映像で映すときも、演台に隠れてしまう形になるおそれもありますので、車椅子前提ということだと、多分こちらの③で少し下げて使ってもらおうというほうが、よりよいのではないかと考えます。

○上野尚徳委員長 ほかに。

事務局長。

○森田範仁事務局長 事務局もなんですけれども、既に設置の役所へ視察に行ったときも、上下稼働ができるほうがいいですとご意見もいただいたところでございます。

以上です。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

暫時休憩します。

休憩 午後 4時21分

再開 午後 4時33分

○上野尚徳委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

今発言台についてということで、①、②、③から選んでいただいている状況です。そういった中で、組み合わせについての考え方もあると思います。例えば②に関しまして車椅子の方も使える形の机を用意して、その隣には普通のタイプの発言台を置けば、立っても発言ができますし、隣で座っても発言ができる、そういったものがないという声が聞こえてきました。

それに対してご意見ある方、いらっしゃいますでしょうか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 私の認識が違うのかもしれないんですけれども、この②の台なんですけれども、椅子がないほうは座っても立っても発言ができる高さなのかなと見えるんですけれども、これ、いかがですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 椅子がある袖の部分の高さということになるかと思うんですけれども、基本的には座って使っていただくのがベストなような高さになると思うんですね。こういう机につきまして議事の補助でも使える部分なので、それに関しては、椅子が一番使いやすいのでご提案させていただくような形で、隣は、立って使っていただくのにベストな天板の高さという考え方でよろしいかと思います。

○上野尚徳委員長 確認させてください。

例えば②を選んだときなんですけれども、今の段階では、発言台と脇の袖机を今回選びま

す。次の段階で、じゃその発言台も低いタイプのものにするのか、普通の発言台にするのかという形で、段階3で再度選べるということで、今回に関しては、机と発言台2つのセットで決めるというような選択肢もあるということでよろしいでしょうか。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 まず、②ということで決めていただければ、今いただいた意見の中で選択肢が増えるような形で、また今度段階3の6月のときにお示しさせていただきます。

○上野尚徳委員長 ということです。

意見、質問ある方、いらっしゃればお願いします。

〔「なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 そうすると、②という声が聞こえてくるんですけども、②でよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 それでは、発言台については②で、また、段階3のタイミングで詳細については決めていく方向にしたいと思います。

よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 続いて、机の色についてです。

①が薄い、②が濃い、③が2色ということで、割れてます。①が多いの。

濃い色が②なので公明党さん。2色が藤原委員と仲島委員。

これも暫定的に選んだ人というのもあるかもしれないので、一応少ない人から聞かせてください。上からいきます。

③だと、仲島委員。

○仲島雄大委員 色は、全体的な部分があるので暫定で選んでいる部分ですし、選択した机の形だと③というのはないのかと思っていて、②だと濃過ぎちゃう、雰囲気全体が暗くなっちゃうので、災害とか何か考えたときの印象とすれば、①に自然となっちゃうのかなと思っています。それは皆さんにお任せします。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

続いて、木俣委員、どうですか。

○木俣美千代委員 この色じゃなければ嫌ということではありません。少し暗過ぎるかなとい

うイメージがあるんですけども、今使っているぐらいの色がいいと思っています。重厚的な格式という部分でも、①と②の間ぐらいでもいいのかなと思いますが、その選択肢がないので、お任せします。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 実は、最初これ②にしてたんですけども、こっちのほうが重厚感があるかなと思って。ただ、この写真とかよく見たら、何となく2色のほうが、話し合った段階で見栄えがいいように見えたんですね。これ2色にしようかということでしたけれども、余りこだわりはありません。

○上野尚徳委員長 分かりました。

ご意見ありがとうございます。

いろいろと検討段階と状況も変わってきていることもあると思います。

木俣委員に関しては、間がいいということですけども、ある程度譲っていただく、ご理解いただくという話でしたので、薄いほうで決めさせていただきたいと思います。①でお願いいたします。

続いて、傍聴席についてです。

分かれているので、ご意見がある方いらっしゃれば伺って、また参考にさせていただきたいと思いますが、ご意見のある方、お願いします。

富井委員。

○富井篤弥委員 私は、③にいたしました。こちらも、傍聴席が移動できるということで、災害時とか非常時の際にも効果的な空間の活用や設備の配置ができると思ったからです。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにありますか。

五味委員。

○五味雅美委員 私、③なんですけど、考えたのは、一応車椅子の席はあるんですけども、場合によったら車椅子の方が団体で傍聴に来られる可能性もあるので、そういった場合にやっぱりそういうスペースをつけたほうがいいかなということで、③にしています。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにありますか。

仲島委員。

○仲島雄大委員 私は、バリアフリーとかいろんな部分を考えるんですけども、お越しいた

だいた方がある程度落ち着いた形で傍聴いただくということも考えて、私は①にしました。

③だと動いてしまったり、②だとスペースが今度は逆に取られてしまうから、折り畳めて跳ね上げのタイプであれば、幾つかの傍聴席を確認したことがあるんですけども、使いやすそうな雰囲気があったので①を選択しています。

以上です。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

木俣委員。

○木俣美千代委員 私たちも①にしたんですけども、③だと毎回整理して椅子を整えなければいけないと思ったんですけども、自分で動きますよね、これだと。終わった都度、整えたりとか手間があるのかなというのと、①のほう、跳ね上がったほうが、やっぱり今、仲島委員おっしゃっていましたが、いいのかなと思って、①番にしました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

藤原委員。

○藤原義春委員 傍聴席なんですけれども、やっぱり③はまずいんじゃないかなと思って、①か②なんですけれども、一応座面跳ね上げタイプなので、私は①でお願いしたいと思うんです。

○上野尚徳委員長 青木委員。

○青木久男副委員長 ①は固定式ですか。

○上野尚徳委員長 固定式で跳ね上げ。

○青木久男副委員長 何で選んだんだろう。

③の椅子というのは、これ5つぐらいは連結というか、そういうものなの、それとも1つばらばらのこうやってただ並べただけなの。それによって違ってくると思うんですけども。

○上野尚徳委員長 D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X 推進・新庁舎整備室長 折り畳みタイプなんですけれども、1つの物の連結でできるようなものの想定です。

○上野尚徳委員長 青木委員。

○青木久男副委員長 そうすると、今ここに例として載っていますが、座った人、一番手前の人少し椅子ごと引っ張って前のほうに行っちゃうとか、そういうことはできないわけですね。

○上野尚徳委員長 D X 推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長　そうですね、基本的につなげて使うことになるかと思  
います。でも、つなげないこともできるので、いろいろな使い方ができると思うんですが、  
基本的にはつなげて使えば、1個だけ動いちゃうということがないような形にはなると思  
います。

○上野尚徳委員長　五味委員。

○五味雅美委員　③の備考欄で固定に比べてスペースの効率がよくないというのは、これは何  
でよくないんですか。

○上野尚徳委員長　暫時休憩します。

休憩　午後　4時44分

再開　午後　4時51分

○上野尚徳委員長　休憩を解いて会議を再開いたします。

審議の途中ですが、時間も差し迫ってきましたので延長をしたいと思いますけれども、よ  
ろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長　それでは、延長することといたします。

執行部のほうも、大丈夫でしょうか。

〔「大丈夫です、こちらは」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長　分かりました。では、延長することといたします。よろしくお願  
いいたします。

執行部のほうは。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長　先ほどの折り畳みタイプのスペースのお話なんですけ  
れども、こちらやはり連結するタイプのものを前提で選択いただくと、やっぱり肘かけ両方  
あるという話なので、そうすると肘かけが2つ重なるという部分で少し幅を取るとい  
う部分と、あと、固定式に比べて1個当たりの座面を小さくできないみたいな部分もあ  
って、座面の仕様の部分で横幅をやっぱり取ってしまう可能性があるということで、  
このスペースという表現になっています。

〔「椅子の座るところのスペースね」と言う人あり〕

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 そうです。1脚当たりの横幅が大きくなるおそれがあるとのこと。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 座席数が少なくなるかもしれないということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 40席確保ということでやっているんですけども、ほかのスペースが少し狭くなる可能性があります。椅子は40席入れます。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 傍聴席は段差が出てくるということを考えると、固定されてないと危険じゃないですかね。そこだけ少し心配、今話を聞いていて、少し心配。フラットになるとしても、段差があればフラットの部分も減るわけですし、危険性って考えたら、どこに責任があるかというふうな形にもなりかねないので。そうなってくると、特に子供たちが来たときにちょっとしたことで何かあってと考えると、固定式という部分は、私は逆にさらに①のほうがいいと。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 2列を想定しているという話ですから、3列、4列ですと劇場みたく少しは上がる必要もあるんですけども、2列ですから。こんな段差ができちゃうんじゃ落ちこちちゃう、椅子が落ちこちちゃうという心配もあるかもしれないけれども。そもそも段差の必要性というのは、私は議場の平たいところから傍聴席が1段上がるというのを聞いているんですけどもね。2列しかない傍聴席でまた上がるというのは、初めて聞いた。

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午後 4時55分

再開 午後 5時08分

○上野尚徳委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

先ほど傍聴席について一旦決定したんですけども、席を検討していく中でフラットにしたほうがいいんじゃないかという意見が出ました。

これに對しましてご意見ある人、いますか。

青木副委員長。

○青木久男副委員長 ③が多いので、ちょっとネックなのが段差があると危ないという話がありましたので、それならば3メートルほどの結構広いスペースですから、有効利用するためにも段差なんてしないで平らにしたほうがいいと。で、フラットのほうがいいと思います。

○上野尚徳委員長 フラットにしたほうがいいよという意見が出ました。

五味委員。

○五味雅美委員 私は、一応後ろの人が見やすいように段差はあつていいのかなと思います。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 私は、後ろの人が見えにくくなるというのは残念なんですけれども、ただ、バリアフリーで全部フラットにして、車椅子の人も安心して使えるのであれば、フラットにしてもいいのかなと思います。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 私は、やはりフラットで、椅子はやっぱり動かせるので、少し横にずらして見やすいようにすればいいかなと思っています。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 それでは、五味委員の意見もありましたけれども、基本的にはフラットにしたほうがいいという意見が多いようですので、傍聴席に關しましては変更させていただいて、フラットということにしてもらいたいと思います。

その上で、傍聴席の椅子について決めたいと思います。

現時点では、③の折り畳みタイプが多いということです。5人と3人ということになっています。多い方の意見を聞きながら、そちらでいいと思っただけなのが一番なんですけれども、とりあえずご意見を伺いたいと思います。特に①の固定の跳ね上げ式という部分の話がありましたので、ご意見があれば、お願いします。

仲島委員。

○仲島雄大委員 私が①を選んでしたのは、段差がある前提で考えていたものですから①で、皆さんの意見がフラットがいいというんだったら、①のこれだと逆に使いにくくなってくる可能性があるので、③の選択しかなくなっちゃうので。どちらでも皆さんに合わせるような形でいいかなと思います。

○上野尚徳委員長 状況が変わってフラットになったのでというところでのご意見いただきました。

木俣委員。

○木俣美千代委員 仲島委員と同じなんですけれども。

ただ、本当に大きな地震が来たときに、この折り畳みの椅子って安心なんですかね。揺れて。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 新庁舎は免震の建物になりまして、大きな地震が来ても建物自体が揺れを、建物がゆっくり揺れることによって激しく揺れないような構造になっていますので、そういった部分では直接例えば震度7のこういうのの影響を受けるというよりは、建物自体が1メートルぐらい動くような構造になりますので、転げ落ちるようなことにはならないんじゃないかなとは考えます。

○木俣美千代委員 椅子とか家具って凶器になりますので、そう思ったときに心配だったんですけれども、フラットでそんな大きな心配がないのであれば、この折り畳みタイプでもいいです。

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

細かいものに関してだとか、耐震に関しましては、次の段階でももう少し発言する機会があるのかなということもありますので、今日は仕様の決定ということで、傍聴席に関しまして③の折り畳みタイプということで議会としての決定事項とさせていただきます。よろしくお願いたします。

ここまでで新庁舎の議会での検討事項について決定したところですので、執行部のほう、よろしいでしょうか。

それでは、今決定したことを局長から報告します。

事務局長。

○森田範仁事務局長 確認のため、読み上げます。

まず、左側から、段階①の反映については丸で、傍聴席エリアはフラットにするということです。

次、議会事務局のところ。こちらは検討案ということで。

続きまして、2番の議場の家具、Aの議長、局長の机の天板、正面板のこれについては②。その隣のBについては、特に回答はなし。Bの1で②を選択した場合ということで、こち

らは②。Cの議員、執行部の机については②。Bの発言台は②。Eの机の色は①。最後のF傍聴席は③。

以上です。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

ただいまの決定事項で認識のずれはないでしょうか。よろしいでしょうか。

[「はい」と言う人あり]

○上野尚徳委員長 はい、ありがとうございます。

委員の皆様、これに関しましては、ほかによろしいですか。

続きまして、2番の基本設計、平面図について協議をいたします。

先日、執行部より配置図、平面図等を提出していただきました。それに対しまして、ご意見、質問がある方、挙手を願います。

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午後 5時16分

再開 午後 5時16分

○上野尚徳委員長 休憩を解いて、会議を再開いたします。

富井委員。

○富井篤弥委員 役場敷地平面図について、伺いたいと思います。

最初に、駐車場台数は最大何台程度を予定しておりますでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 駐車区画は134台、要求水準書で、一般車両区画60台から70台、あとEVですね、電気自動車5台程度、公用車は40台程度、公用の電気自動車が5台程度、あと身障者用の3台にパーキング・パーミット3台加えて、障害のある職員優先の区画ということでそれが2台分、あと、荷下ろし用のサービス駐車場ですね、こちらは3台確保するというものになっております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 はい、分かりました。

あと、意見としてあったのが、各公共バスのバス停というのは、どのあたりの配置になる

予定でしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらの図面ですと、赤く文字で公用バスなどの利用時の車寄せエリアというところ、ちょうどぐっと南側に入り込んでいるような形になっているんですけども、ここの辺りを想定しております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 いなまるとかも、この中に入ったりとかもされるということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 いなまるにつきましては、現在は外側の部分を走っておりますので、これからいろいろダイヤの関係もございますので、いなまるの多分見直しの部分もこれから予想されるかと思っておりますので、そういった部分も含めて入ることもできると。あと、大型バスで例えば団体が借り上げたもので役場を集合場所とか、役場関連、民生委員とか、例えばそういった方が研修に行くときとかに待ち合せたりするときにも、こちらのエリアを使っていただくような想定になっています。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 はい、分かりました。

あと、平面図については最後に1点なんですけれども、駐車場の一方通行というのは、やっぱり駐車場台数を確保するためには仕方ないところもあると思うんですけども、何か逆走を防ぐための方策とか対策というのはあったりするのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 一方通行にさせていただいた部分につきましては、やはり安全性のことを考えまして、逆走というのも当然あるんですけども、あと、現在の庁舎の前の駐車場も一方通行をやっておりますので、新しく庁舎が変わっても住民の方の違和感が少ないのかなという部分も含めて、一方通行とさせていただいた部分ではございます。

こちらの逆走防止につきましては、やはり今のところ舗装面に矢印を書いて誘導するというようなところとか、例えばまだ検討段階でありますけれども、駐車場に一方通行の看板みたいなの、そういうのも出すということも考えられるかとは思っております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 はい、分かりました。

駐車場が結構広くなるので、やっぱり広くなると一方通行ですと結構何か分からなくなっ

て逆走したりというのもあつたりすると思うので、実際に何か駐車場内のトラブル、何かのアンケートで第1位にやっぱり逆走が一番不快だとかそういうのもあつたりするので、この逆走についてはうまく対策していただければと思います。

とりあえず、この敷地平面図については、以上になります。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

五味委員。

○五味雅美委員 すみません、今の話のバスの件なんですけれども、左側の車両出入口がありますよね。バスはそこから入ってくるんですかね。中でUターンできる、この右側でUターンできるわけですか。ぐるっとロータリーみたいに。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 出入口は1本になります。大型バスも入っていただいて、一方通行の一般車両と同じようにぐるっと回ってついでに、で、出ていただくという想定でございます。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 この上のほうの駐車場をぐるっと一回りして向きを変えろということですね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 そのとおりでございます。

○五味雅美委員 分かりました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

仲島委員。

○仲島雄大委員 朝、障害を抱えた方の送迎用のバスがあると思うんですけれども、それも同じようなルートで考えるような形ですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 そのように想定しております。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 一般が60台から70台で公用車40台分というお話なんですけれども、現在公用車40台というのは、常時近くにないといけない台数ということでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 40台が近くに必ずなくてはいけないというものではございませんが、今現在も公用車、裏も含めてなんですけれども40台ぐらい置かせていただいている部分を想定した形の駐車場計画とさせていただきます。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 職員用の駐車場がまたできるじゃないですか。あと、公用車用に借りる土地というのがありますよね。そちらは何台分でしたっけ。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 建設工事に伴いまして駐車場がとても狭くなってしまう時期がありますので、その期間から既に職員は旧伊奈病院があったところの部分の予定でございます。あと、公用車については一旦、総務課で今いろいろプラン考えて、ほぼ決まっているんですけれども、旧伊奈病院の職員駐車場だったところをご存じでしょうか、新聞配達店の隣のところなんですけれども、そここのところに一旦公用車はという部分で考えていますので。その後、駐車場が整備できた後に公用車をこちらに持ってくれば、そこのお借りするような駐車場の部分をどうするかというのは、またこれからの検討になるかと思えます。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 ということは、公用車でこれから借りるところは、一時的に借りるだけということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 現状そういう計画なんですけれども、例えばお車での来庁者、今回図書館が複合化されることによって車で来るお客様も相当いらっしゃると思いますので、公用車があることによって駐車場があふれちゃって来庁者がとめられないようなことがないように、検討はこれから進めていきます。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 はい、分かりました。よろしく申し上げます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

栗原委員。

○栗原恵子委員 駐輪場なんですけれども、2か所、左側と右側にありまして、それぞれ台数はどのぐらいかと、あと、バイクと自転車は一緒にここにとめるような感じですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 図面の西側の駐輪場は来庁者用を想定しております。

東側は、主に職員かというところで分けているところではあるんですけども、一般の駐輪場ですと90台から100台程度。

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午後 5時25分

再開 午後 5時26分

○上野尚徳委員長 休憩を解いて会議を再開します。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 失礼いたしました。

駐輪場が2つに分かれています、どちらかが職員向けとか、どちらかが一般向けというのは、まだ今現段階では決定してないんですけども、両方合わせまして、一般駐輪場としては100台程度、職員用として50台程度の駐輪場を想定しておりまして、バイクと自転車ということで分けて考えてはおりませんので、内数として考えてください、恐れ入ります。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 はい、分かりました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

仲島委員。

○仲島雄大委員 駐輪場の関係なんですけれども、とめるときに台というんですか、自転車、ああいうのは設置する予定なんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 前輪を引っかけるタイプのもので倒れないような形で置けるよう計画しております。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 分かりました。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

ほかのフロアを含めても大丈夫ですか、ほか、ありますか。

富井委員。

○富井篤弥委員 2階の平面図、図書館エリアなんですけれども、1つお尋ねしたいのが図書館の子供用トイレなんですけれども、この子供用トイレというのは、多目的トイレと同じような、使用する子供1人と同伴する保護者の方用のタイプなんでしょうか。何かそのあたり、伺えればと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 お子様と保護者が一緒に入れるような形のトイレを計画しております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 じゃ、多目的トイレと変わらないような形で。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 トイレの便器の大きさがお子様向けという形になって、そういう形で計画しております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 安心しました。

以上です。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

藤原委員。

○藤原義春委員 その他ですけれども、今議会での検討事項について事務局長が決定案を読んでもらったんですけれども、皆さん、その他の意見も聞いているかと思うんですけれども、それはもう省いているということですか。

○上野尚徳委員長 藤原委員、今基本設計の平面図についてのことで。

○藤原義春委員 その後で。

○上野尚徳委員長 その他については、またこの後やります。

平面図についてはどうですか。

仲島委員。

○仲島雄大委員 この間、富井委員と話をしたんですけれども、1階の平面図で出入口のところで金庫が近いのは、これ大丈夫なのかなと。セキュリティの問題は当然大丈夫という前提でしょうけれども、素人目からすると、少し心配かなみたいなのが。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 ご指摘の部分は私どももあって、現段階でお見せでき

なくて申し訳ないんですけども、もう少し北のほうに移すと、入り口から遠いところに移すという形で考えています。

○上野尚徳委員長 仲島委員。

○仲島雄大委員 安心しました。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 今のに関連するんですけども、そういったことを考えると、こういった平面図というのは余り一般公開しないほうがいいですよ、防犯上。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 エリアとしてはお見せするんですけども、何の部屋ですという部分については、伏せた形で出します。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。平面図についてよろしいですか、上までという形になりますけれども。

〔「なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 大丈夫なようなので、次に進みます。

その他に移ります。

まず、執行部から連絡等ございますか。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 4月から、もう来月からなんですけれども、工場地確保のためにあちらの北西の角にあります建物の控室と車庫の部分の解体作業が始まりますので、そちらの工事のお知らせの文書を議員の皆様にもたこの後メールでお配りさせていただきたいと思いますので、ご確認いただければと思います。よろしくお願ひします。

○上野尚徳委員長 委員からは、何かありますか、その他です。

藤原委員。

○藤原義春委員 アンケートのところ、検討事項のものについては今もう確定したわけですけども、それぞれ会派の中で意見を言った人、その他で意見を言った人があったかと思うんですけども、要はAからFまで。

○上野尚徳委員長 進めている中で、丸バツだとか選んでもらった以外に何かありますかという意味で聞いていたつもりだったんですけども。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 これ出てきた意見なので、駄目なら駄目で。要は、議場内で議員側の席だけ

軽いスロープにしてほしいという要望があったんですけども、今の全体の話を知っているとオールフラットでやるということなので、これは駄目でいいんですね。分かりました。

○上野尚徳委員長 よろしいですか。

ほかに何かありますか。

青木委員。

○青木久男副委員長 すみません、確認というか、平面図のカラーのところ、1階でも2階でもいいんですけども。

今、流してもらいましたけれども、現行案でも検討案でも同じなんですけれども、今現行の議員控室を見ると、一般通路と議員控室の間はドアが2つあって壁で仕切られているという状況なんですけれども、ここの議員控室と正副議長室のところですよ、これは全くの壁なんですか、それとも少し窓みたいなものがついているとか、そういうものなんですか。これ、今になってそんなこと聞いちゃあれですけども、すみません。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 確認なんですけれども、議員控室とその隣の正副議長室の壁なのか、そこに何か窓があるのかというお話だと思うんですけども、現状では壁と考えております。

○青木久男副委員長 全くの壁。そこじゃないです、通路側の。

○上野尚徳委員長 青木委員。

○青木久男副委員長 通路になっているところ、議員控室の北側ですよ、すぐ北側。これ、通路みたくなっているでしょう。一般の人はここを通らないんだと思うんですけども、入ってきてもおかしくないんですけども、ここは全くの壁なんですか。そうすると、何か狭く感じるんですけどね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 通路になっている、このT字みたいになっているところのお話かと思うんですけども、現状では壁の廊下という想定になります。

○上野尚徳委員長 青木委員。

○青木久男副委員長 全部壁。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 壁と、あと部屋にはドアがついているという形のものです。

○上野尚徳委員長 青木委員。

○青木久男副委員長　このところ、現在の議員控室、一般通路でドアで仕切られただけであれですけども、これ随分奥まった嚴重なところのように見えちゃうんですけども、ここまでする必要があるのかなという気がするんです。こんな壁なんか、正副議長室のところはともかく、議員控室のところはもっと開放的に、壁なんか物理的に無理なのかどうか分かりませんけれども、取るか、あるいは低い壁にするとかね。どうなんですか。

○上野尚徳委員長　暫時休憩します。

休憩　午後　５時３６分

再開　午後　５時３６分

○上野尚徳委員長　休憩を解いて会議を再開いたします。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長　通路の役割しか確かにございませんで、セキュリティエリアとしても議員、もしくは職員の方しか入れないエリアになっていますので、部屋として位置しています。なんですけれども、開放するか、もしくは壁が構造材というんですか、建物として支持するようなものとしての設計としての意図があると、ここを取ることはできない部分もあるので、今すぐ回答できないんですけども検討させていただきます。

この壁を取って、もっと広く一体として使うことにできるんじゃないかという御提案ということでよろしいでしょうか。

○上野尚徳委員長　青木委員。

○青木久男副委員長　全部取らなくても、いわゆる腰板みたいな高さでもって、そこから上は空洞とかね。何かとにかくこの議員控室が広々と感じるような方策もあるんじゃないかと思ひまして。ただ、３階、４階建てですから、この壁がなくなると耐久性がなくなるとかというんじゃ、また話が違うんですけども。

○上野尚徳委員長　これ、意見として。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長　先ほどお話ししたとおり、取れないものなのかどうかの確認と、取った場合のご検討させていただいて、大きく部屋の構造が変わるわけではないので、恐らく小変更の範囲の中とは思ひます、変えられる部分としては。

なので、次回までにまたお話しさせていただければと思います。

○上野尚徳委員長 よろしいですか。

○青木久男副委員長 はい、じゃ、お願いします。

○上野尚徳委員長 ほか、大丈夫ですか。

〔発言する人なし〕

○上野尚徳委員長 ほかにないようですので、日程について協議いたします。

通常、次の議会の初日ということですので、6月定例会の初日に次回開催したいと思いますが、ご異議なしでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 それでは、6月定例会の初日に開催することといたします。

ほかになければ、ここで執行部の退席をお願いいたします。

暫時休憩します。

休憩 午後 5時39分

再開 午後 5時40分

○上野尚徳委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

藤原委員の先ほど、その他のところでお話があった、懸念されていたところなんですけれども、事務局で作ってもらった一覧表の中の一番下の部分で、今回決定したものに沿った形のものに関しましては、そこに事務局で打ち込んで執行部に提出することにしますので、そういったことでよろしいでしょうか。

○藤原義春委員 分かりました、大丈夫です。

○上野尚徳委員長 以上で、本日予定されていた内容は全て終了しました。

閉会の前に、副委員長より挨拶をお願いします。

○青木久男副委員長 17時40分だ、朝早くから一般質問最終日ということで、皆さん大変お疲れのところ、ありがとうございました。

○上野尚徳委員長 以上をもちまして閉会といたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 5時41分